

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

1 組

(講義)	科目名: SNS I		講師: 中川竜雄	
科目概要	本授業では、Instagramを中心としたSNS基礎知識と実践的な運用スキルを学ぶ。SNSの歴史や役割、マーケティングの基本概念、著作権や運用ルールなどを理解するとともに、投稿動画の企画・構成・撮影・編集といった制作スキルをグループワークを通して習得する。後半では、実際にInstagramアカウントを開設し、リール動画の投稿を継続的に行いながら、再生数や保存数などの数値をもとに分析と改善を繰り返す。これにより、単なる知識の習得にとどまらず、SNSを活用して情報を発信し、反応を得るための実践力を身につける。			
学習目標	ターゲット設定からコンテンツ企画、投稿、分析、改善までの一連のプロセスを自ら実行できる状態を目指し、SNSマーケティングを「使えるスキル」として定着させることを目的とする。			
教科書		授業でプリントなど配布します		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	オリエンテーションSNSの歴史	
		第2回	SNSの種類と特徴: 主要プラットフォームの概要	
		第3回	SNSマーケティングの基本	
		第4回	著作権についての基礎知識	
		第5回	SNSアカウントの作成1	
		第6回	SNSアカウントの作成2	
		第7回	アカウント投稿設計1	
		第8回	アカウント投稿設計2	
		第9回	フィード投稿1	
		第10回	フィード投稿2	
		第11回	フィード投稿3	
		第12回	リール投稿1	
		第13回	リール投稿2	
		第14回	リール投稿3	
		第15回	複数プラットフォームでの投稿1	
		第16回	複数プラットフォームでの投稿2	
		第17回	複数プラットフォームでの投稿3	
	試験	第18回	前期まとめ	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもつてくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

(講義)		科目名:画像・動画編集I		講師:中川竜雄	
科目概要		本授業では、画像および動画編集の基礎技術を体系的に学び、素材を「整える・構成する・伝える・演出する」ための実践力を身につける。 前期では補正・カット編集・構図・テロップ・音などの基本操作と考え方を習得し、編集の土台となるスキルを段階的に理解する。			
学習目標		スマートフォンを使って撮影セオリーを習得し、Canvaを中心に用いて実社会で即応用できる編集術を学ぶ。			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:画像・動画編集の概要		
		第2回	ビジネスシーンにおける画像・動画について1		
		第3回	ビジネスシーンにおける画像・動画について2		
		第4回	写真撮影のランクアップ術		
		第5回	画像編集の基礎1「補正」		
		第6回	画像編集の基礎2「トリミング」		
		第7回	画像編集の基礎3「レイアウト」		
		第8回	画像編集の基礎4「合成1」		
		第9回	画像編集の基礎5「合成2」		
		第10回	動画撮影のランクアップ術		
		第11回	動画編集の基礎1「カット編集」		
		第12回	動画編集の基礎2「構成」		
		第13回	動画編集の基礎3「テロップ」		
		第14回	動画編集の基礎4「オーディオ編集」		
		第15回	動画編集の基礎5「トランジション」		
		第16回	短編作品制作1		
		第17回	短編作品制作2		
	第18回	短編作品制作3			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)	科目名:オフィスソフト I		講師:高橋 直子	
科目概要	この科目では、Microsoft Wordを使用した文書作成の基本スキルを学びます。文字入力や編集、フォーマット設定から、表や画像の挿入などビジネスで役立つ文書作成技術を習得します。実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標	Microsoft Wordの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 表、図形などを文書に挿入し、目的に応じて編集できる。			
教科書		プリントなどを配布します。		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	文字の入力と簡単な文書を作成	
		第2回	定型文書の作成	
		第3回	レポートや報告書の作成	
		第4回	復習	
		第5回	表作成の練習	
		第6回	表のある文書の作成	
		第7回	複雑な表のある文書の作成	
		第8回	復習	
		第9回	図形などを利用した文書の作成	
		第10回	簡単な地図のある文書の作成	
		第11回	SmartArtなどを利用した文書の作成	
		第12回	縦書き文書の作成	
		第13回	横置き文書の作成	
		第14回	復習	
		第15回	復習	
		第16回	復習	
		第17回	復習	
	第18回	試験対策		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席がない場合は不合格となります。	
	期末試験	40点		
	授業内評価	30点	毎回授業で行う課題作成などを含めた授業態度	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。		

(講義)		科目名:IT テクノロジー I		講師:加藤 愛子	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目はシステムエンジニアとして企業システムの要件定義や運用業務に携わってきた講師が担当する。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション/ITパスポート試験のテクノロジー分野の重要性		
		第2回	コンピュータ構成要素 その1(ハードウェア①)		
		第3回	コンピュータ構成要素 その2(ハードウェア②)		
		第4回	コンピュータ構成要素 その3(IoTデバイス)		
		第5回	オペレーティングシステム		
		第6回	システム構成要素とファイルシステム		
		第7回	基礎理論 その1(離散数学)		
		第8回	基礎理論 その2(応用数学)		
		第9回	基礎理論 その3(情報に関する理論)		
		第10回	アルゴリズムとプログラミング その1(データ構造)		
		第11回	アルゴリズムとプログラミング その2(アルゴリズム①)		
		第12回	アルゴリズムとプログラミング その3(アルゴリズム②)		
		第13回	アルゴリズムとプログラミング その4(プログラム言語)		
		第14回	アルゴリズムとプログラミング その5(マークアップ言語)		
		第15回	AI の技術		
		第16回	オフィスツール、オープンソフトウェア		
		第17回	システムの評価指標		
	第18回	前期のまとめ、期末試験準備			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:WEBデザイン I		講師:今井 克哉	
科目概要		基礎的な「デザインルール」を学び、実際のクリエイティブに役立つ知識を身につける。			
学習目標		基礎的な「デザインルール」を学び、実際のクリエイティブに役立つ知識を身につけます (内容によっては、Web以外の紙媒体にも使える分野を習得)			
教科書		スライド			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	イントロダクション		
		第2回	デザインの原則①近接		
		第3回	デザインの原則②		
		第4回	デザインの原則③		
		第5回	カラーを使ったデザイン①カラーホイール		
		第6回	カラーを使ったデザイン②色が視覚的に与える印象		
		第7回	WEBサイトの基礎知識		
		第8回	HTMLの基礎		
		第9回	HTMLの記述(ナビゲーション、コンテンツ)		
		第10回	HTMLの記述(バナー、ロゴ)		
		第11回	CSSの基礎		
		第12回	CSSの基礎応用		
		第13回	CSSの使用		
		第14回	色指定		
		第15回	外部CSSの読み込み		
		第16回	種類、大きさ変更		
		第17回	データ入れ込み		
	第18回	HTML編集			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)	科目名:ビジネスリテラシー I		講師:片桐 淳
科目概要	ビジネスの実務に必要な基本的なスキルを身につけることを目的とする。企業運営の基本から、問題解決、プレゼンテーションスキル、書類作成、ビジネスマナーまで多岐にわたる内容を学ぶ。各回では、実践的な演習とケーススタディを通じて、実務的な理解を深める。		
学習目標	・ビジネス実務における基本的なスキルを習得する。 ・コミュニケーション能力、問題解決能力、計画・管理能力を向上させる。 ・企業で実際に直面する課題に対応するための実務的な知識を学ぶ。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授 業 計 画	回数	授 業 内 容	
	第1回	ビジネス実務の基本	
	第2回	コミュニケーションスキル I	
	第3回	コミュニケーションスキル II	
	第4回	チームワークとリーダーシップ	
	第5回	ビジネスマナーとエチケット	
	第6回	ビジネス文書作成 I	
	第7回	ビジネス文書作成 II	
	第8回	問題解決スキル I	
	第9回	問題解決スキル II	
	第10回	プレゼンテーションスキル I	
	第11回	プレゼンテーションスキル II	
	第12回	プレゼンテーションの練習	
	第13回	時間管理と優先順位付け	
	第14回	ファイナンシャルリテラシー	
	第15回	顧客対応と営業スキル	
	第16回	プロジェクトマネジメント I	
	第17回	プロジェクトマネジメント II	
	第18回	総括と復習	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。	

(講義)		科目名:人間関係の心理学 I		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では人間関係における心理的メカニズムについて学習します。特に、自分を中心に、自分にとって、最も身近な集団である家族でのコミュニケーションについて、発達の知識とからめて理解していきます。発達しながら、保育園・小学校など、日本の社会にいていく中で必要な人間関係における社会関係について理解を深めます。			
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを習得し、実践できる ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、心理学的視点から分析し、解決策を提案できる			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと自己紹介		
		第2回	発達心理学: 発達の考え方		
		第3回	家族関係(1) 赤ちゃんの誕生とコミュニケーション		
		第4回	家族関係(2) 愛着の形成		
		第5回	家族関係(3) 虐待と愛着障害		
		第6回	家族関係(4) 育児不安と子育て支援		
		第7回	性格と人間関係(1)		
		第8回	性格と人間関係(2)		
		第9回	中間テスト		
		第10回	はじめて社会に出ていく(保育園、幼稚園、小学校の制度)		
		第11回	放課後の人間関係(習い事、学童保育など)		
		第12回	自己概念の発達と人間関係(1) 自分の発見と第1反抗期		
		第13回	自己概念の発達と人間関係(2) 自分を振り返り、他者に気づく		
		第14回	自己概念の発達と人間関係(3) 自分に自信がなくなっていく		
		第15回	自己概念の発達と人間関係(4) 第2反抗期		
		第16回	友人関係・恋愛関係(1)		
		第18回	友人関係・恋愛関係(2)		
		第19回	期末試験の準備		
	試験	第20回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	52点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:AI活用法 I		講師:中川竜雄	
科目概要		本授業では、生成AIを活用した画像・動画・音声・スライド制作の基礎を学び、実践的なコンテンツ制作スキルを身につける。プロンプト設計やAIの特性理解を通して、アイデアを形にする力を養うとともに、バナー広告やチラシ制作などの実務的なアウトプットにも取り組む			
学習目標		ChatGPT、Geminiなどの定番AIをメインに用いてその使い方を習得する			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:AI活用法について		
		第2回	AIの進化と歴史		
		第3回	生活の中でのAI活用1		
		第4回	生活の中でのAI活用2		
		第5回	画像生成		
		第6回	実用画像生成		
		第7回	SNSバナー生成		
		第8回	動画生成の基礎		
		第9回	ショート動画生成		
		第10回	音声・ナレーション生成		
		第11回	スライド生成		
		第12回	音楽生成		
		第13回	画像生成		
		第14回	AI実用生成1		
		第15回	AI実用生成2		
		第16回	AI実用生成3		
		第17回	AI実用生成4		
	第17回	AI実用生成5			
	第18回	前期総括			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)	科目名:リテールマーケティング		講師:岡野 純司
科目概要	流通の役割や商品の流通経路、現代の流通の特徴など大きなテーマから、店舗販売の各業態の役割と仕組み、チェーンオペレーションの種類と仕組み、商業集積、無店舗販売、電子商取引などの役割と仕組みなどについて、基本的な内容を学ぶ。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は小売企業で経理、総務分野の管理職としての実務経験のある講師が担当する。		
学習目標	流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解し、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す能力を身に付ける。		
教科書		プリントなど配布します。	
授業計画	回数	授 業 内 容	
	第1回	流通の役割①:必要性など	
	第2回	流通の役割②:小売業・卸売業	
	第3回	商品の分類	
	第4回	商品の流通経路	
	第5回	現代の流通の特徴	
	第6回	店舗販売と無店舗販売	
	第7回	店舗販売の業態①:一般小売店・百貨店	
	第8回	店舗販売の業態②:総合スーパー・食品スーパー	
	第9回	店舗販売の業態③:専門店・ホームセンター・ドラッグストア	
	第10回	店舗販売の業態④:コンビニエンスストア	
	第11回	店舗販売の業態⑤:ディスカウントストア・均一価格店・無人販売	
	第12回	チェーンオペレーション①:定義、ボランタリーチェーン	
	第13回	チェーンオペレーション②:フランチャイズチェーン、レギュラーチェーンなど	
	第14回	商業集積	
	第15回	無店舗販売	
	第16回	店舗販売と無店舗販売の競合	
	第17回	電子商取引	
	第18回	リテールマーケティングのまとめ	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(講義)	科目名：Webサイト I		講師：若林 優哉	
科目概要	Webサイトとは、インターネット上の複数のWebページの集まりのことである。Webページはパソコン画面で見えるインターネット上の一ページと言える。 このWebサイトは、私たちがインターネットを実際に利用する上で、必ず目にするもの、欠かせないものと言える。 Webサイトの指す範囲は広く、ここでは様々な観点からWebサイトについて考えていくことが求められる。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を経営する講師が担当する。			
学習目標	「Webサイト I」では、ブログを用いたWebサイト作成と運用ができることを目標とする。			
教科書		なし / (※参考資料：『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本』)		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	webサイトとは	
		第2回	webサイトの種類	
		第3回	webサイトの目的と利用方法	
		第4回	webサイトの開発について	
		第5回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(1)	
		第6回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(2)	
		第7回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(3)	
		第8回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(4)	
		第9回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(5)	
		第10回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(6)	
		第11回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(7)	
		第12回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(1)	
		第13回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(2)	
		第14回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(3)	
		第15回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(4)	
		第16回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(5)	
		第17回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(7)	
	試験	第18回	webサイト 研究発表(まとめ)	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

(講義)		科目名:キャリアデザインⅠ(入門)		講師:加藤 愛子	
科目概要		キャリアデザインⅠは、会社および仕事についてを説明し、就職の方法や流れ、準備すべきことを説明します。			
学習目標		学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。就職するための履歴書と職務経歴書を作れるように勉強します。			
教科書		プリントなどを配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	キャリアデザインの重要性と授業の進め方		
		第2回	就活を知る ～ いつから?何をやる?		
		第3回	就活を知る ～ 「働く」を考える		
		第4回	自己分析につながるエピソードを見つける		
		第5回	業界を知る		
		第6回	近年の就職活動について		
		第7回	企業を知る		
		第8回	就職のための各種資格		
		第9回	自己分析:価値観と興味の理解		
		第10回	自己分析の手法をツール		
		第11回	自己分析:スキルと強みの発見		
		第12回	自己分析シートの作成		
		第13回	筆記試験を知る		
		第14回	適性検査を知る		
		第15回	一般常識テストの準備と対策		
		第16回	エントリーシートの基本ルール		
		第17回	エントリーシートの作成		
	第18回	エントリーシートのレビュー			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:IT ストラテジー I		講師:深谷高史	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で経済産業省が認定する国家試験である。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測るものである。本講義は、ITパスポート試験の合格を目的とした科目であり、出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開する。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は、税理士として自らが代表を務める税理士事務所と顧問先企業のIT利活用を推進し、各種情報系試験の資格を持つ講師が担当する。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
教科書		[令和8年度]いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集(SBクリエイティブ)			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ITパスポート試験の概要と勉強方法		
		第2回	企業活動(1)		
		第3回	企業活動(2)		
		第4回	企業活動(問題演習)		
		第5回	企業活動(問題演習)		
		第6回	法務(1)		
		第7回	法務(2)		
		第8回	法務(問題演習)		
		第9回	法務(問題演習)		
		第10回	企業と法務(問題演習)		
		第11回	企業と法務(問題演習)		
		第12回	経営戦略マネジメント(1)		
		第13回	経営戦略マネジメント(2)		
		第14回	経営戦略マネジメント(問題演習)		
		第15回	経営戦略マネジメント(問題演習)		
		第16回	企業と法務、経営戦略マネジメント(問題演習)		
		第17回	企業と法務、経営戦略マネジメント(問題演習)		
	第18回	まとめ、期末試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席・居眠りをしないこと			
		②筆記具を必ずもってくること			
		③指定された座席で受講し、講師の指示に従うこと			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。スマートフォンはカバンの中に入れること			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

2 組

(講義)		科目名: SNS I		講師: 小川実花	
科目概要		現代社会で重要な役割を果たすSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、基礎的な知識から特定のSNSにて実践的な活用方法まで学習します。 主要なSNSプラットフォームの特徴や機能、利用者の行動パターンなどについて理解を深め、SNSが社会、文化、コミュニケーションに与える影響を多角的に研究します。			
学習目標		・主要なSNSプラットフォームの特徴と機能について理解し、適切に使い分けることができる ・SNSを活用したコミュニケーション戦略を立案し、実践することができる			
教科書		授業でプリントなどを配布			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション: 授業の進め方、学習目標の確認・SNSとは		
		第2回	SNSの種類と特徴: 主要プラットフォームの概要		
		第3回	Instagramの特徴・データプライバシーと倫理的課題		
		第4回	Instagram: 投稿マナーと安全		
		第5回	Instagram: アカウントの開設と設定・プロフィール作成		
		第6回	フィード投稿①(写真+キャプション)投稿案作成		
		第7回	フィード投稿②(テーマ設定)(画像・動画編集Ⅰと連動)		
		第8回	フィード投稿③(テーマ設定) 制作物提出(画像・動画編集Ⅰと連動)		
		第9回	フォロワーを増やす方法・アルゴリズム理解ワーク・確認問題		
		第10回	リール動画①(特徴理解) 動画企画シート		
		第11回	リール動画②(個人制作) 教室内撮影・投稿		
		第12回	リール動画③(個人制作) 発表 リフレクション / 制作物提出		
		第13回	SNS広告: ターゲット理解: レポート作成		
		第14回	Instagram広告のしくみ/ SNS広告制作		
		第15回	SNS広告制作・発表・リフレクション		
		第16回	SNS広告制作: イベントPR① フィード投稿課題提出		
		第17回	SNS広告制作: イベントPR② フィード投稿 課題提出		
	第18回	前期リフレクション・フォロー、期末試験準備			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:画像・動画編集 I		講師: 小川実花	
科目概要		本科目では、デジタル時代に必須となる画像・動画編集の基礎から実践的なテクニックまでを学びます。画像・動画編集に関するソフトウェアの操作方法を習得し、写真の補正・加工から、動画の編集・エフェクト付与まで学習します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業でWEBデザイナーとして業績を積み、その後、企業のマーケティング部門でも業績を積んできた講師が担当する。			
学習目標		・Canvaを用いた画像編集スキル を習得し、写真の補正・デザインができる。 ・Canvaの動画編集機能を活用 し、SNS向けの短尺動画を制作できる。 ・SNSやWEBサイトで活用するコンテンツ制作 を意識し、ターゲットに適した画像・動画を作成できる。			
教科書		授業でプリントなどを配布			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:授業の進め方、学習目標の確認		
		第2回	基本操作①:画像編集(アカウント作成・写真編集)		
		第3回	基本操作②:画像編集(日本語フォント・レイアウトの活用)		
		第4回	バナー作成①:Instagramフィード投稿のデザイン		
		第5回	バナー作成②:Instagramフィード投稿のデザイン・提出・発表		
		第6回	バナー作成③:インフォグラフィックスの作成		
		第7回	実践課題①:SNSに適した画像を作成(SNS I と連動)		
		第8回	実践課題②:SNSに適した画像を作成(SNS I と連動)		
		第9回	発表・フィードバック		
		第10回	動画編集①:基本操作:BGM・効果音の追加		
		第11回	動画編集②:基本操作:カット・テキスト挿入		
		第12回	動画編集③:アニメーション機能を活用		
		第13回	実践課題:リール動画の作成		
		第14回	画像編集①:広告制作 知識・練習		
		第15回	画像編集②:広告制作		
		第16回	動画編集③:広告制作 課題作成		
		第17回	動画編集④:課題提出・発表・フィードバック		
	第18回	期末試験前準備:実技の練習・フォロー			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:IT ストラテジー I		講師:酒井克実	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンス		
		第2回	会計・財務(1)		
		第3回	会計・財務(2)		
		第4回	経営組織論(1)		
		第5回	経営組織論(2)		
		第6回	経営組織論(3)		
		第7回	小テスト		
		第8回	知的財産権とセキュリティ関連法規(1)		
		第9回	知的財産権とセキュリティ関連法規(2)		
		第10回	労働・取引関連法規(1)		
		第11回	労働・取引関連法規(2)		
		第12回	小テスト		
		第13回	技術経営論(1)		
		第14回	技術経営論(2)		
		第15回	技術経営論(3)		
		第16回	技術経営論(4)		
		第17回	小テスト		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	20点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	50点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)	科目名:ビジネスリテラシー I		講師:片桐 淳
科目概要	ビジネス実務に必要な基本的スキル(特に会計知識)を身につけることを目的とする。		
学習目標	・ビジネス実務における基本的スキルのひとつである会計知識を身につけ、2年生で会計資格(「全経3級商業簿記」)の取得を目指す。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授業計画	回数	授 業 内 容	
	第1回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本①「貸借対照表(B/S)」	
	第2回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本②「損益計算書(P/L)」	
	第3回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本③「B/SとP/L」	
	第4回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本④「仕訳①」	
	第5回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑤「仕訳②」	
	第6回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑥「仕訳と転記①」	
	第7回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑦「仕訳と転記②」	
	第8回	第1回から第7回の総復習①	
	第9回	第1回から第7回の総復習②	
	第10回	第1回から第7回の総復習③	
	第11回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑧「現金と預金」	
	第12回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑨「商品売買①」	
	第13回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑩「商品売買②」	
	第14回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑪「収益と費用①」	
	第15回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑫「収益と費用②」	
	第16回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑬「有形固定資産」	
	第17回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑭「株式会社の設立と資本金」	
	第18回	第11回から第17回までの総復習	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(講義)		科目名:AI活用法 I		講師:若林 優哉	
科目概要		現代において不可欠なツールとなりつつあるAI(人工知能)の基礎知識を学び、実践的な活用方法を習得します。AIの基本的な概念から始まり、ビジネスや学習、日常生活での具体的な活用方法まで、幅広く学習します。			
学習目標		この授業を通じて、AI技術を効果的に活用し、生産性向上やクリエイティブな問題解決に応用できる実践力を養うことを目指します。AIを使いこなすための基礎的な知識とスキルを習得することで、デジタル社会で必要とされる人材となることを目指します。			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:AIとは何か		
		第2回	テキスト生成AI入門		
		第3回	AIでメール文を作成しよう		
		第4回	AIに文章を直してもらおう		
		第5回	マインドマップを作成しよう		
		第6回	マーケティング戦略を立てる		
		第7回	アイデア出し(ブレインストーミング)		
		第8回	文字起こし、議事録作成		
		第9回	Excelで利用する(1)		
		第10回	Excelで利用する(2)		
		第11回	PowwrPointのスライドを作る		
		第12回	英語(日本語)学習をする		
		第13回	PDFの内容を要約する		
		第14回	ニュース検索・要約		
		第15回	スピーチを作る		
		第16回	RPGで遊ぶ		
		第17回	占いをする		
	第18回	Youtube動画の要約をする			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:人間関係の心理学 I		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では人間関係における心理的メカニズムについて学習します。特に、自分を中心に、自分にとって、最も身近な集団である家族でのコミュニケーションについて、発達の知識とからめて理解していきます。発達しながら、保育園・小学校など、日本の社会にていく中で必要な人間関係における社会関係について理解を深めます。			
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを習得し、実践できる ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、心理学的視点から分析し、解決策を提案できる			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと自己紹介		
		第2回	発達心理学: 発達の考え方		
		第3回	家族関係(1) 赤ちゃんの誕生とコミュニケーション		
		第4回	家族関係(2) 愛着の形成		
		第5回	家族関係(3) 虐待と愛着障害		
		第6回	家族関係(4) 育児不安と子育て支援		
		第7回	性格と人間関係(1)		
		第8回	性格と人間関係(2)		
		第9回	中間テスト		
		第10回	はじめて社会に出ていく(保育園、幼稚園、小学校の制度)		
		第11回	放課後の人間関係(習い事、学童保育など)		
		第12回	自己概念の発達と人間関係(1) 自分の発見と第1反抗期		
		第13回	自己概念の発達と人間関係(2) 自分を振り返り、他者に気づく		
		第14回	自己概念の発達と人間関係(3) 自分に自信がなくなっていく		
		第15回	自己概念の発達と人間関係(4) 第2反抗期		
		第16回	友人関係・恋愛関係(1)		
		第18回	友人関係・恋愛関係(2)		
		第19回	期末試験の準備		
	試験	第20回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	52点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:Webデザイン I		講師:保田 涼佑	
科目概要		本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてインターネット接続サービスの運用、保守のほか、サーバーやネットワークの情報システムの管理業務に携わり、情報系の試験やファイナンシャルプランナーなどの資格も持つ講師が担当する。			
学習目標		HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み		
		第2回	HTMLの基本構造		
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方		
		第4回	リストとリンクの作成		
		第5回	画像とメディアの挿入		
		第6回	表の作成		
		第7回	フォーム作成の基本		
		第8回	CSSの基本		
		第9回	テキストスタイリング		
		第10回	ボックスモデルの理解		
		第11回	背景デザインと色彩の設定		
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)		
		第13回	フレックスボックスの導入		
		第14回	簡単なWebページ制作演習		
		第15回	HTML5の新しい要素		
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性		
		第17回	前期まとめ演習		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:オフィスソフト I		講師:高橋 直子	
科目概要		この科目では、Microsoft Wordを使用した文書作成の基本スキルを学びます。文字入力や編集から、表や図形の挿入など、ビジネスで役立つ文書作成技術を習得します。初心者レベルを対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標		Microsoft Wordの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 表、図形などを文書に挿入し、目的に応じて編集できる。			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	基本的な操作／日本語入力の練習		
		第2回	文字入力の練習		
		第3回	簡単な書式設定①と文字入力の練習		
		第4回	簡単な書式設定②と文字入力の練習		
		第5回	表作成①と文字入力の練習		
		第6回	表作成②と文字入力の練習		
		第7回	表のある文書の作成①と文字入力の練習		
		第8回	表のある文書の作成②と文字入力の練習		
		第9回	図形のある文書の作成①と文字入力の練習		
		第10回	図形のある文書の作成②と文字入力の練習		
		第11回	図形のある文書の作成③と文字入力の練習		
		第12回	横置き文書の作成と文字入力の練習		
		第13回	復習		
		第14回	復習		
		第15回	復習		
		第16回	復習		
		第17回	復習		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席がない場合は不合格となります。		
	期末試験	40点			
	授業内評価	30点	課題の作成やルールを守っているかなどの授業態度		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)		科目名:キャリアデザインⅠ(入門)		講師:高瀬 基行	
科目概要		キャリアデザインⅠは、日本の会社および仕事についてを説明し、就職の方法や流れ、準備すべきことを説明します。			
学習目標		日本での仕事をよく理解したうえ、学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。日本で就職するための履歴書と職務経歴書を作れるように勉強します。			
教科書		プリントなどを配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	キャリアデザインの重要性と授業の進め方		
		第2回	自己紹介とキャリアに関する期待		
		第3回	日本の社会の会社		
		第4回	職業と職種とその特徴		
		第5回	日本の所得水準と社会福祉		
		第6回	近年日本の就職状況		
		第7回	就職に活動に関する事情		
		第8回	キャリアゴールの設定方法		
		第9回	効果的な目標設定		
		第10回	キャリアパスの構築		
		第11回	就職ための各種資格		
		第12回	日本の就職活動について		
		第13回	基本的な履歴書の作成		
		第14回	職務経歴書の作成		
		第15回	自己分析:価値観と興味の理解		
		第16回	自己分析の手法をツール		
		第17回	自己分析:スキルと強みの発見		
	第18回	自己分析シートの作成			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)	科目名:リテールマーケティング		講師:岡野 純司
科目概要	流通の役割や商品の流通経路、現代の流通の特徴など大きなテーマから、店舗販売の各業態の役割と仕組み、チェーンオペレーションの種類と仕組み、商業集積、無店舗販売、電子商取引などの役割と仕組みなどについて、基本的な内容を学ぶ。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は小売企業で経理、総務分野の管理職としての実務経験のある講師が担当する。		
学習目標	流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解し、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す能力を身に付ける。		
教科書		プリントなど配布します。	
授業計画	回数	授業内容	
	第1回	流通の役割①:必要性など	
	第2回	流通の役割②:小売業・卸売業	
	第3回	商品の分類	
	第4回	商品の流通経路	
	第5回	現代の流通の特徴	
	第6回	店舗販売と無店舗販売	
	第7回	店舗販売の業態①:一般小売店・百貨店	
	第8回	店舗販売の業態②:総合スーパー・食品スーパー	
	第9回	店舗販売の業態③:専門店・ホームセンター・ドラッグストア	
	第10回	店舗販売の業態④:コンビニエンスストア	
	第11回	店舗販売の業態⑤:ディスカウントストア・均一価格店・無人販売	
	第12回	チェーンオペレーション①:定義、ボランタリーチェーン	
	第13回	チェーンオペレーション②:フランチャイズチェーン、レギュラーチェーンなど	
	第14回	商業集積	
	第15回	無店舗販売	
	第16回	店舗販売と無店舗販売の競合	
	第17回	電子商取引	
	第18回	リテールマーケティングのまとめ	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(講義)		科目名:IT テクノロジー I		講師:室山 俊浩	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション/ITパスポート試験のテクノロジー分野の重要性		
		第2回	基礎理論その1 離散数学		
		第3回	基礎理論その2 応用数学		
		第4回	基礎理論その3 情報に関する理論		
		第5回	基礎理論その4 データの構造		
		第6回	基礎理論その5 アルゴリズム		
		第7回	基礎理論その6 プログラミング・プログラム言語		
		第8回	基礎理論その7 マークアップ言語		
		第9回	コンピュータシステムその1 プロセッサ		
		第10回	コンピュータシステムその2 記憶装置		
		第11回	コンピュータシステムその3 出力デバイス		
		第12回	コンピュータシステムその4 システムの構成		
		第13回	コンピュータシステムその5 システムの評価指標		
		第14回	コンピュータシステムその6 OS(オペレーティングシステム)		
		第15回	コンピュータシステムその7 ファイル管理		
		第16回	コンピュータシステムその8 オフィスツール		
		第17回	コンピュータシステムその9 OSSとハードウェア		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)	科目名: Webサイト I		講師: 若林 優哉
科目概要	Webサイトとは、インターネット上の複数のWebページの集まりのことである。Webページはパソコン画面で見えるインターネット上の一ページと言える。 このWebサイトは、私たちがインターネットを実際に利用する上で、必ず目にするもの、欠かせないものと言える。 Webサイトの指す範囲は広く、ここでは様々な観点からWebサイトについて考えていくことが求められる。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を運営する講師が担当する。		
学習目標	「Webサイト I」では、ブログを用いたWebサイト作成と運用ができることを目標とする。		
教科書		なし / (※参考資料:『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本』)	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容
		第1回	webサイトとは
		第2回	webサイトの種類
		第3回	webサイトの目的と利用方法
		第4回	webサイトの開発について
		第5回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(1)
		第6回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(2)
		第7回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(3)
		第8回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(4)
		第9回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(5)
		第10回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(6)
		第11回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(7)
		第12回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(1)
		第13回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(2)
		第14回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(3)
		第15回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(4)
		第16回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(5)
		第17回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(7)
	試験	第18回	webサイト 研究発表(まとめ)
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

3 組

(講義)		科目名:ITテクノロジー I		講師:酒井克実	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書			プリントなど配布します。		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション		
		第2回	コンピュータにまつわる計算		
		第3回	確率		
		第4回	情報と情報量		
		第5回	小テスト		
		第6回	データの構造とアルゴリズム		
		第7回	プログラミング言語		
		第8回	プログラミング演習(1)		
		第9回	プログラミング演習(2)		
		第10回	プログラミング演習(3)		
		第11回	コンピュータの構成		
		第12回	OSとファイルシステム		
		第13回	会社のコンピュータと家庭のコンピュータ		
		第14回	小テスト		
		第15回	データベースとバックアップ		
		第16回	表計算ソフト		
		第17回	小テスト		
	第18回	試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	30点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	40点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)	科目名:オフィスソフト I		講師:高橋 直子	
科目概要	この科目では、Microsoft Wordを使用した文書作成の基本スキルを学びます。文字入力や編集から、表や図形の挿入など、ビジネスで役立つ文書作成技術を習得します。初心者レベルを対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標	Microsoft Wordの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 表、図形などを文書に挿入し、目的に応じて編集できる。			
教科書		プリントなどを配布します。		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	基本的な操作／日本語入力の練習	
		第2回	文字入力の練習	
		第3回	簡単な書式設定①と文字入力の練習	
		第4回	簡単な書式設定②と文字入力の練習	
		第5回	表作成①と文字入力の練習	
		第6回	表作成②と文字入力の練習	
		第7回	表のある文書の作成①と文字入力の練習	
		第8回	表のある文書の作成②と文字入力の練習	
		第9回	図形のある文書の作成①と文字入力の練習	
		第10回	図形のある文書の作成②と文字入力の練習	
		第11回	図形のある文書の作成③と文字入力の練習	
		第12回	横置き文書の作成と文字入力の練習	
		第13回	復習	
		第14回	復習	
		第15回	復習	
		第16回	復習	
		第17回	復習	
	第18回	試験対策		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席がない場合は不合格となります。	
	期末試験	40点		
	授業内評価	30点	課題の作成やルールを守っているかなどの授業態度	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。		

(講義)		科目名:IT ストラテジー I		講師:酒井克実	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。			
学習目標		ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンス		
		第2回	会計・財務(1)		
		第3回	会計・財務(2)		
		第4回	経営組織論(1)		
		第5回	経営組織論(2)		
		第6回	経営組織論(3)		
		第7回	小テスト		
		第8回	知的財産権とセキュリティ関連法規(1)		
		第9回	知的財産権とセキュリティ関連法規(2)		
		第10回	労働・取引関連法規(1)		
		第11回	労働・取引関連法規(2)		
		第12回	小テスト		
		第13回	技術経営論(1)		
		第14回	技術経営論(2)		
		第15回	技術経営論(3)		
		第16回	技術経営論(4)		
		第17回	小テスト		
	第18回	まとめ、試験対策			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	20点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	50点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)	科目名:ビジネスリテラシー I		講師:片桐 淳
科目概要	ビジネス実務に必要な基本的スキル(特に会計知識)を身につけることを目的とする。		
学習目標	・ビジネス実務における基本的スキルのひとつである会計知識を身につけ、2年生で会計資格(「全経3級商業簿記」)の取得を目指す。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授 業 計 画	回数	授 業 内 容	
	第1回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本①「貸借対照表(B/S)」	
	第2回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本②「損益計算書(P/L)」	
	第3回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本③「B/SとP/L」	
	第4回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本④「仕訳①」	
	第5回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑤「仕訳②」	
	第6回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑥「仕訳と転記①」	
	第7回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑦「仕訳と転記②」	
	第8回	第1回から第7回の総復習①	
	第9回	第1回から第7回の総復習②	
	第10回	第1回から第7回の総復習③	
	第11回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑧「現金と預金」	
	第12回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑨「商品売買①」	
	第13回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑩「商品売買②」	
	第14回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑪「収益と費用①」	
	第15回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑫「収益と費用②」	
	第16回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑬「有形固定資産」	
	第17回	ビジネス実務(特に会計知識)の基本⑭「株式会社の設立と資本金」	
	第18回	第11回から第17回までの総復習	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(講義)		科目名:AI活用法 I		講師:若林 優哉	
科目概要		現代において不可欠なツールとなりつつあるAI(人工知能)の基礎知識を学び、実践的な活用方法を習得します。AIの基本的な概念から始まり、ビジネスや学習、日常生活での具体的な活用方法まで、幅広く学習します。			
学習目標		この授業を通じて、AI技術を効果的に活用し、生産性向上やクリエイティブな問題解決に応用できる実践力を養うことを目指します。AIを使いこなすための基礎的な知識とスキルを習得することで、デジタル社会で必要とされる人材となることを目指します。			
教科書		プリントなど配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション:AIとは何か		
		第2回	テキスト生成AI入門		
		第3回	AIでメール文を作成しよう		
		第4回	AIに文章を直してもらおう		
		第5回	マインドマップを作成しよう		
		第6回	マーケティング戦略を立てる		
		第7回	アイデア出し(ブレインストーミング)		
		第8回	文字起こし、議事録作成		
		第9回	Excelで利用する(1)		
		第10回	Excelで利用する(2)		
		第11回	PowwrPointのスライドを作る		
		第12回	英語(日本語)学習をする		
		第13回	PDFの内容を要約する		
		第14回	ニュース検索・要約		
		第15回	スピーチを作る		
		第16回	RPGで遊ぶ		
		第17回	占いをする		
	第18回	Youtube動画の要約をする			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)	科目名：WebサイトⅠ		講師：若林 優哉	
科目概要	Webサイトとは、インターネット上の複数のWebページの集まりのことである。Webページはパソコン画面で見えるインターネット上の一ページと言える。 このWebサイトは、私たちがインターネットを実際に利用する上で、必ず目にするもの、欠かせないものと言える。 Webサイトの指す範囲は広く、ここでは様々な観点からWebサイトについて考えていくことが求められる。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を運営する講師が担当する。			
学習目標	「WebサイトⅠ」では、ブログを用いたWebサイト作成と運用ができることを目標とする。			
教科書		なし / (※参考資料：『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本』)		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	webサイトとは	
		第2回	webサイトの種類	
		第3回	webサイトの目的と利用方法	
		第4回	webサイトの開発について	
		第5回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(1)	
		第6回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(2)	
		第7回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(3)	
		第8回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(4)	
		第9回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(5)	
		第10回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(6)	
		第11回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(7)	
		第12回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(1)	
		第13回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(2)	
		第14回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(3)	
		第15回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(4)	
		第16回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(5)	
		第17回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(7)	
	第18回	webサイト 研究発表(まとめ)		
	試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

(講義)		科目名:Webデザイン I		講師:保田 涼佑	
科目概要		本授業では、Web制作に必要なHTMLとCSSの基礎から応用までを学びます。基本的な文法や構造、CSSのスタイリングの習得を目指します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてインターネット接続サービスの運用、保守のほか、サーバーやネットワークの情報システムの管理業務に携わり、情報系の試験やファイナンシャルプランナーなどの資格も持つ講師が担当する。			
学習目標		HTMLとCSSの基本文法を理解し、正確にコーディングできるようになる。 Webページのレイアウトやデザインを適切に構築できるようになる。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	ガイダンスとWebの仕組み		
		第2回	HTMLの基本構造		
		第3回	テキスト要素と見出しの使い方		
		第4回	リストとリンクの作成		
		第5回	画像とメディアの挿入		
		第6回	表の作成		
		第7回	フォーム作成の基本		
		第8回	CSSの基本		
		第9回	テキストスタイリング		
		第10回	ボックスモデルの理解		
		第11回	背景デザインと色彩の設定		
		第12回	基本レイアウト(フロートを使用したレイアウト)		
		第13回	フレックスボックスの導入		
		第14回	簡単なWebページ制作演習		
		第15回	HTML5の新しい要素		
		第16回	モジュール化とCSSの再利用性		
		第17回	前期まとめ演習		
	第18回	試験対策			
試験	第19回	期末試験			
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、授業内課題などで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)	科目名:リテールマーケティング		講師:姜 美松
科目概要	流通における小売業の役割や流通経路別小売業の役割、形態別小売業の役割など大きなテーマから、具体的な店舗形態別小売業の役割、チェーンストアの役割、商業集積の役割と仕組みなどについて基本的な内容を学ぶ。		
学習目標	流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解し、「リテールマーケティング検定試験(販売士)」3級合格を目指す能力を身に付ける。		
教科書		なし。プリント配布。	
授業計画	回数	授 業 内 容	
	第1回	授業の進め方／流通の役割	
	第2回	小売業とは	
	第3回	商品の分類	
	第4回	商品の流通経路	
	第5回	現代の流通の特徴	
	第6回	店舗販売と無店舗販売	
	第7回	店舗販売の業態①一般小売店／百貨店	
	第8回	店舗販売の業態②総合スーパー／スーパーマーケット	
	第9回	店舗販売の業態③専門店／ホームセンター	
	第10回	店舗販売の業態④ドラッグストア／コンビニエンスストア	
	第11回	店舗販売の業態⑤ディスカウントストア／均一価格店	
	第12回	店舗販売の業態⑥無人販売(店舗)	
	第13回	チェーンオペレーション	
	第14回	商店街とショッピングセンター	
	第15回	無店舗販売	
	第16回	店舗販売と無店舗販売の融合	
	第17回	電子商取引	
	第18回	まとめ	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(講義)	科目名:人間関係の心理学 I	講師:橋井大輔
科目概要	本科目では人間関係における心理的メカニズムについて学習します。印象形成・対人認知の仕組み、コミュニケーション、社会集団や集団の心理、対人魅力など、日常生活における人間関係・社会関係について理解を深めます。	
学習目標	・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを習得し、実践できる ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、心理学的視点から分析し、解決策を提案できる	
教科書		プリントなどを配布します。
授業計画	授業	回数 授業内容
		第1回 オリエンテーションと自己紹介
		第2回 人間関係の中の自己(1)
		第3回 人間関係の中の自己(2)
		第4回 印象形成と対人認知 (1)
		第5回 印象形成と対人認知 (2)
		第6回 対人魅力
		第7回 性格と人間関係(1)
		第8回 性格と人間関係(2)
		第9回 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション(1)
		第10回 言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション(2)
		第11回 人付き合いの心理学(1) 人との距離感
		第12回 人付き合いの心理学(2) 人間関係の築き方
		第13回 人付き合いの心理学(3) より良い人間関係を目指す
		第14回 攻撃と対立の人間関係
		第15回 友人関係・恋愛関係(1)
		第16回 友人関係・恋愛関係(2)
		第17回 友人関係・恋愛関係(3)
	試験	第18回 期末試験の準備
成績評価	出席率	30点 期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	50点 30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	20点 授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。
		②筆記具を必ずもってくること。
		③指定された座席で受講すること。
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。

(講義)		科目名:キャリアデザインⅠ(入門)		講師:高瀬 基行	
科目概要		キャリアデザインⅠは、日本の会社および仕事についてを説明し、就職の方法や流れ、準備すべきことを説明します。			
学習目標		日本での仕事をよく理解したうえ、学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。日本で就職するための履歴書と職務経歴書を作れるように勉強します。			
教科書		プリントなどを配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	キャリアデザインの重要性と授業の進め方		
		第2回	自己紹介とキャリアに関する期待		
		第3回	日本の社会の会社		
		第4回	職業と職種とその特徴		
		第5回	日本の所得水準と社会福祉		
		第6回	近年日本の就職状況		
		第7回	就職に活動に関する事情		
		第8回	キャリアゴールの設定方法		
		第9回	効果的な目標設定		
		第10回	キャリアパスの構築		
		第11回	就職ための各種資格		
		第12回	日本の就職活動について		
		第13回	基本的な履歴書の作成		
		第14回	職務経歴書の作成		
		第15回	自己分析:価値観と興味の理解		
		第16回	自己分析の手法をツール		
		第17回	自己分析:スキルと強みの発見		
	第18回	自己分析シートの作成			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)	科目名: SNS I		講師: 若林 優哉
科目概要	現代社会で重要な役割を果たすSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、基礎的な知識から実践的な活用方法まで学習します。主要なSNSプラットフォームの特徴や機能、利用者の行動パターンなどについて理解を深めます。また、ビジネスや社会活動におけるSNSの効果的な活用方法についても学びます。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を運営する講師が担当する。		
学習目標	・主要なSNSプラットフォームの特徴と機能について理解し、適切に使い分けができる ・SNSのアルゴリズムや分析ツールについて理解し、基本的な運用データの解析ができる ・SNSを活用したコミュニケーション戦略を立案し、実践することができる		
教科書		授業でプリントなど配布します	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容
		第1回	オリエンテーション
		第2回	SNSの種類と特徴: 主要プラットフォームの概要
		第3回	Instagramの特徴について
		第4回	Instagramのアカウントのコンセプト: ターゲット設定とペルソナ分析
		第5回	Instagramのアカウントの作成(1)
		第6回	Instagramのアカウントの作成(2)
		第7回	Instagramのフィード投稿(1) 画像
		第8回	Instagramのフィード投稿(2) 画像
		第9回	Instagramのフィード投稿(3) 画像
		第10回	Instagramのフィード投稿(4) リール動画
		第11回	Instagramのフィード投稿(5) リール動画
		第12回	Instagramのフィード投稿(6) リール動画
		第13回	Instagramのフィード投稿(7) リール動画
		第14回	Instagramuのストーリーズ(1)
		第15回	Instagramuのストーリーズ(2)
		第16回	Instagramuのストーリーズ(3)
		第17回	投稿の分析と発表(1)
	第18回	投稿の分析と発表(2)	
試験	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(講義)	科目名:画像・動画編集 I		講師:若林 優哉
科目概要	本科目では、デジタル時代に必須となる画像・動画編集の基礎から実践的なテクニックまでを学びます。画像・動画編集に関するソフトウェアの操作方法を習得し、写真の補正・加工から、動画の編集・エフェクト付与まで、実際の制作プロセスに沿って学習します。		
学習目標	・画像編集ソフトウェア(Canva)の基本操作を習得し、写真の色調補正や加工ができる ・動画編集ソフトウェア(Capcut)を使用して基本的な動画制作ができる		
教科書		授業でプリントなど配布します。	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容
		第1回	オリエンテーション
		第2回	写真の撮影・編集(1)
		第3回	写真の撮影・編集(2)
		第4回	写真の撮影・編集(3)
		第5回	写真の撮影・編集(4)
		第6回	写真の撮影・編集(5)
		第7回	写真の撮影・編集(6)
		第8回	写真の撮影・編集(7)
		第9回	写真の撮影・編集(8)
		第10回	動画の撮影・編集(1)
		第11回	動画の撮影・編集(2)
		第12回	動画の撮影・編集(3)
		第13回	動画の撮影・編集(4)
		第14回	動画の撮影・編集(5)
		第15回	動画の撮影・編集(6)
		第16回	動画の撮影・編集(7)
		第17回	投稿の分析と発表(1)
		第18回	投稿の分析と発表(2)
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

AI コミュニケーション・IT ビジネス学科

1 年生

4 組

(講義)	科目名:AI活用法 I		講師:中川竜雄	
科目概要	本授業では、生成AIを活用した画像・動画・音声・スライド制作の基礎を学び、実践的なコンテンツ制作スキルを身につける。プロンプト設計やAIの特性理解を通して、アイデアを形にする力を養うとともに、バナー広告やチラシ制作などの実務的なアウトプットにも取り組む			
学習目標	ChatGPT、Geminiなどの定番AIをメインに用いてその使い方を習得する			
教科書		プリントなど配布します。		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	オリエンテーション:AI活用法について	
		第2回	AIの進化と歴史	
		第3回	生活の中でのAI活用1	
		第4回	生活の中でのAI活用2	
		第5回	画像生成	
		第6回	実用画像生成	
		第7回	SNSバナー生成	
		第8回	動画生成の基礎	
		第9回	ショート動画生成	
		第10回	音声・ナレーション生成	
		第11回	スライド生成	
		第12回	音楽生成	
		第13回	画像生成	
		第14回	AI実用生成1	
		第15回	AI実用生成2	
		第16回	AI実用生成3	
		第17回	AI実用生成4	
	第17回	AI実用生成5		
	第18回	前期総括		
試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

(講義)	科目名:リテールマーケティング		講師: 村瀬貴彦
科目概要	小売業の類型について学びます。 小売業の役割、店舗の形態、チェーンストアの仕組み、商業集積の仕組みなど、流通と小売業の基本的な内容を学ぶ。		
学習目標	販売士3級テキストの「小売業の類型」の試験範囲の知識を身につける。		
教科書		プリントを配布します。	
授業計画	回数	授 業 内 容	
	第1回	イントロダクション	
	第2回	小売業と卸売業	
	第3回	商品と流通	
	第4回	販売形態	
	第5回	第2回～第4回の復習	
	第6回	チェーンオペレーション	
	第7回	チェーンストアの種類と特徴	
	第8回	商店街、ショッピングセンター(商業集積)	
	第9回	第6回～第8回の復習	
	第10回	店舗形態別小売業の業種	
	第11回	コンビニエンスストア、ドラッグストア	
	第12回	さまざまな店舗形態	
	第13回	第10回～第12回の復習	
	第14回	店舗販売と無店舗販売	
	第15回	電子商取引	
	第16回	過去問練習(1)	
	第17回	過去問練習(2)	
	第18回	まとめと復習	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	

(講義)	科目名:オフィスソフト I		講師:高橋 直子	
科目概要	この科目では、Microsoft Wordを使用した文書作成の基本スキルを学びます。文字入力や編集から、表や図形の挿入など、ビジネスで役立つ文書作成技術を習得します。初心者レベルを対象としており、実践的な演習を通じてスキルの定着を目指します。			
学習目標	Microsoft Wordの基本的な操作を理解し、実践できるようになる。 表、図形などを文書に挿入し、目的に応じて編集できる。			
教科書		プリントなどを配布します。		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	基本的な操作／日本語入力の練習	
		第2回	文字入力の練習	
		第3回	簡単な書式設定①と文字入力の練習	
		第4回	簡単な書式設定②と文字入力の練習	
		第5回	表作成①と文字入力の練習	
		第6回	表作成②と文字入力の練習	
		第7回	表のある文書の作成①と文字入力の練習	
		第8回	表のある文書の作成②と文字入力の練習	
		第9回	図形のある文書の作成①と文字入力の練習	
		第10回	図形のある文書の作成②と文字入力の練習	
		第11回	図形のある文書の作成③と文字入力の練習	
		第12回	横置き文書の作成と文字入力の練習	
		第13回	復習	
		第14回	復習	
		第15回	復習	
		第16回	復習	
		第17回	復習	
	第18回	試験対策		
試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	75%以上の出席がない場合は不合格となります。	
	期末試験	40点		
	授業内評価	30点	課題の作成やルールを守っているかなどの授業態度	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。		

(講義)		科目名:WEBデザインⅠ		講師:今井 克哉	
科目概要		基礎的な「デザインルール」を学び、実際のクリエイティブに役立つ知識を身につける。			
学習目標		基礎的な「デザインルール」を学び、実際のクリエイティブに役立つ知識を身につけます (内容によっては、Web以外の紙媒体にも使える分野を習得)			
教科書		スライド			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	イントロダクション		
		第2回	デザインの原則①近接		
		第3回	デザインの原則②		
		第4回	デザインの原則③		
		第5回	カラーを使ったデザイン①カラーホイール		
		第6回	カラーを使ったデザイン②色が視覚的に与える印象		
		第7回	WEBサイトの基礎知識		
		第8回	HTMLの基礎		
		第9回	HTMLの記述(ナビゲーション、コンテンツ)		
		第10回	HTMLの記述(バナー、ロゴ)		
		第11回	CSSの基礎		
		第12回	CSSの基礎応用		
		第13回	CSSの使用		
		第14回	色指定		
		第15回	外部CSSの読み込み		
		第16回	種類、大きさ変更		
		第17回	データ入れ込み		
	第18回	HTML編集			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:人間関係の心理学 I		講師: 木村 洋太	
科目概要		本科目では人間関係における心理的メカニズムについて学習します。特に、自分を中心に、自分にとって、最も身近な集団である家族でのコミュニケーションについて、発達の知識とからめて理解していきます。発達しながら、保育園・小学校など、日本の社会にいていく中で必要な人間関係における社会関係について理解を深めます。			
学習目標		・人間関係に関する基礎的な心理学理論を理解し、説明することができる ・円滑な人間関係を築くために必要なコミュニケーションスキルを習得し、実践できる ・職場や学校等様々な場面での対人関係の課題について、心理学的視点から分析し、解決策を提案できる			
教科書		プリントなどを配布します。			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーションと自己紹介		
		第2回	発達心理学: 発達の考え方		
		第3回	家族関係(1) 赤ちゃんの誕生とコミュニケーション		
		第4回	家族関係(2) 愛着の形成		
		第5回	家族関係(3) 虐待と愛着障害		
		第6回	家族関係(4) 育児不安と子育て支援		
		第7回	性格と人間関係(1)		
		第8回	性格と人間関係(2)		
		第9回	中間テスト		
		第10回	はじめて社会に出ていく(保育園、幼稚園、小学校の制度)		
		第11回	放課後の人間関係(習い事、学童保育など)		
		第12回	自己概念の発達と人間関係(1) 自分の発見と第1反抗期		
		第13回	自己概念の発達と人間関係(2) 自分を振り返り、他者に気づく		
		第14回	自己概念の発達と人間関係(3) 自分に自信がなくなっていく		
		第15回	自己概念の発達と人間関係(4) 第2反抗期		
		第16回	友人関係・恋愛関係(1)		
		第18回	友人関係・恋愛関係(2)		
		第19回	期末試験の準備		
	試験	第20回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	52点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	18点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名:IT テクノロジー I		講師:加藤 愛子	
科目概要		ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のテクノロジー系の知識を中心に展開します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目はシステムエンジニアとして企業システムの要件定義や運用業務に携わってきた講師が担当する。			
学習目標		ITパスポート試験のテクノロジー分野に関する基本的な知識を理解し、試験に対応できる力を養う。ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティなどの重要な技術概念を把握し、日常の業務や試験問題で活用できるようにする。			
教科書					
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション/ITパスポート試験のテクノロジー分野の重要性		
		第2回	コンピュータ構成要素 その1(ハードウェア①)		
		第3回	コンピュータ構成要素 その2(ハードウェア②)		
		第4回	コンピュータ構成要素 その3(IoTデバイス)		
		第5回	オペレーティングシステム		
		第6回	システム構成要素とファイルシステム		
		第7回	基礎理論 その1(離散数学)		
		第8回	基礎理論 その2(応用数学)		
		第9回	基礎理論 その3(情報に関する理論)		
		第10回	アルゴリズムとプログラミング その1(データ構造)		
		第11回	アルゴリズムとプログラミング その2(アルゴリズム①)		
		第12回	アルゴリズムとプログラミング その3(アルゴリズム②)		
		第13回	アルゴリズムとプログラミング その4(プログラム言語)		
		第14回	アルゴリズムとプログラミング その5(マークアップ言語)		
		第15回	AI の技術		
		第16回	オフィスツール、オープンソフトウェア		
		第17回	システムの評価指標		
	第18回	前期のまとめ、期末試験準備			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)		科目名: SNS I		講師: 若林 優哉	
科目概要		現代社会で重要な役割を果たすSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、基礎的な知識から実践的な活用方法まで学習します。主要なSNSプラットフォームの特徴や機能、利用者の行動パターンなどについて理解を深めます。また、ビジネスや社会活動におけるSNSの効果的な活用方法についても学びます。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を運営する講師が担当する。			
学習目標		・主要なSNSプラットフォームの特徴と機能について理解し、適切に使い分けることができる ・SNSのアルゴリズムや分析ツールについて理解し、基本的な運用データの解析ができる ・SNSを活用したコミュニケーション戦略を立案し、実践することができる			
教科書		授業でプリントなど配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	オリエンテーション		
		第2回	SNSの種類と特徴: 主要プラットフォームの概要		
		第3回	Instagramの特徴について		
		第4回	Instagramのアカウントのコンセプト: ターゲット設定とペルソナ分析		
		第5回	Instagramのアカウントの作成(1)		
		第6回	Instagramのアカウントの作成(2)		
		第7回	Instagramのフィード投稿(1) 画像		
		第8回	Instagramのフィード投稿(2) 画像		
		第9回	Instagramのフィード投稿(3) 画像		
		第10回	Instagramのフィード投稿(4) リール動画		
		第11回	Instagramのフィード投稿(5) リール動画		
		第12回	Instagramのフィード投稿(6) リール動画		
		第13回	Instagramのフィード投稿(7) リール動画		
		第14回	Instagramuのストーリーズ(1)		
		第15回	Instagramuのストーリーズ(2)		
		第16回	Instagramuのストーリーズ(3)		
		試験	第17回	投稿の分析と発表(1)	
	第18回		投稿の分析と発表(2)		
	成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
期末試験		40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
授業内評価		30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。			

(講義)	科目名:画像・動画編集 I		講師:若林 優哉	
科目概要	本科目では、デジタル時代に必須となる画像・動画編集の基礎から実践的なテクニックまでを学びます。画像・動画編集に関するソフトウェアの操作方法を習得し、写真の補正・加工から、動画の編集・エフェクト付与まで、実際の制作プロセスに沿って学習します。			
学習目標	・画像編集ソフトウェア(Canva)の基本操作を習得し、写真の色調補正や加工ができる ・動画編集ソフトウェア(Capcut)を使用して基本的な動画制作ができる			
教科書		授業でプリントなど配布します。		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	オリエンテーション	
		第2回	写真の撮影・編集(1)	
		第3回	写真の撮影・編集(2)	
		第4回	写真の撮影・編集(3)	
		第5回	写真の撮影・編集(4)	
		第6回	写真の撮影・編集(5)	
		第7回	写真の撮影・編集(6)	
		第8回	写真の撮影・編集(7)	
		第9回	写真の撮影・編集(8)	
		第10回	動画の撮影・編集(1)	
		第11回	動画の撮影・編集(2)	
		第12回	動画の撮影・編集(3)	
		第13回	動画の撮影・編集(4)	
		第14回	動画の撮影・編集(5)	
		第15回	動画の撮影・編集(6)	
		第16回	動画の撮影・編集(7)	
		試験	第17回	投稿の分析と発表(1)
	第18回		投稿の分析と発表(2)	
	成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
期末試験		40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
授業内評価		30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

(講義)	科目名: Webサイト I		講師: 若林 優哉	
科目概要	Webサイトとは、インターネット上の複数のWebページの集まりのことである。Webページはパソコン画面で見えるインターネット上の一ページと言える。 このWebサイトは、私たちがインターネットを実際に利用する上で、必ず目にするもの、欠かせないものと言える。 Webサイトの指す範囲は広く、ここでは様々な観点からWebサイトについて考えていくことが求められる。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は企業にてデジタルマーケティングアドバイザーとして経営コンサルティング業務の実績を積み、現在はビジネスコンサルティングやSNSマーケティングコンサルティング、デジタルマーケティング支援事業を行う会社を経営する講師が担当する。			
学習目標	「Webサイト I」では、ブログを用いたWebサイト作成と運用ができることを目標とする。			
教科書		なし / (※参考資料:『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb制作と運用の基本』)		
授業計画	授業	回数	授 業 内 容	
		第1回	webサイトとは	
		第2回	webサイトの種類	
		第3回	webサイトの目的と利用方法	
		第4回	webサイトの開発について	
		第5回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(1)	
		第6回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(2)	
		第7回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(3)	
		第8回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(4)	
		第9回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(5)	
		第10回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(6)	
		第11回	webサイト制作と実践(基礎) ～ ブログについて(7)	
		第12回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(1)	
		第13回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(2)	
		第14回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(3)	
		第15回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(4)	
		第16回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(5)	
		第17回	webサイト制作と実践(応用) ～ ブログについて(7)	
	試験	第18回	webサイト 研究発表(まとめ)	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。	
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。	
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。	
備考		①遅刻・欠席をしないこと。		
		②筆記具を必ずもってくること。		
		③指定された座席で受講すること。		
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。		
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。		

(講義)	科目名:ビジネスリテラシー I		講師:徐誠敏
科目概要	ビジネスの実務に必要な基本的なスキルを身につけることを目的とする。企業運営の基本から、問題解決、プレゼンテーションスキル、書類作成、ビジネスマナーまで多岐にわたる内容を学ぶ。各回では、実践的な演習とケーススタディを通じて、実務的な理解を深める。		
学習目標	・ビジネス実務における基本的なスキルを習得する。 ・コミュニケーション能力、問題解決能力、計画・管理能力を向上させる。 ・企業で実際に直面する課題に対応するための実務的な知識を学ぶ。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授業計画	回数	授業内容	
	第1回	ビジネス実務の基本	
	第2回	コミュニケーションスキル I	
	第3回	コミュニケーションスキル II	
	第4回	チームワークとリーダーシップ	
	第5回	ビジネスマナーとエチケット	
	第6回	ビジネス文書作成 I	
	第7回	ビジネス文書作成 II	
	第8回	問題解決スキル I	
	第9回	問題解決スキル II	
	第10回	プレゼンテーションスキル I	
	第11回	プレゼンテーションスキル II	
	第12回	プレゼンテーションの練習	
	第13回	時間管理と優先順位付け	
	第14回	ファイナンスリテラシー	
	第15回	顧客対応と営業スキル	
	第16回	プロジェクトマネジメント I	
	第17回	プロジェクトマネジメント II	
	第18回	総括と復習	
	第19回	期末試験	
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席をしないこと。	
		②筆記具を必ずもってくること。	
		③指定された座席で受講すること。	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。	

(講義)		科目名:キャリアデザイン I (入門)		講師:加藤 愛子	
科目概要		キャリアデザイン I は、日本の会社および仕事についてを説明し、就職の方法や流れ、準備すべきことを説明します。			
学習目標		日本での仕事をよく理解したうえ、学生が自身のキャリアについての基本的な理解を深め、将来の職業選択に向けた準備を始めることを目的とします。日本で就職するための履歴書と職務経歴書を作れるように勉強します。			
教科書		プリントなどを配布します			
授業計画	授業	回数	授 業 内 容		
		第1回	キャリアデザインの重要性と授業の進め方		
		第2回	自己紹介とキャリアに関する期待		
		第3回	日本の社会の会社		
		第4回	職業と職種とその特徴		
		第5回	日本の所得水準と社会福祉		
		第6回	近年日本の就職状況		
		第7回	就職に活動に関する事情		
		第8回	キャリアゴールの設定方法		
		第9回	効果的な目標設定		
		第10回	キャリアパスの構築		
		第11回	就職ための各種資格		
		第12回	日本の就職活動について		
		第13回	基本的な履歴書の作成		
		第14回	職務経歴書の作成		
		第15回	自己分析:価値観と興味の理解		
		第16回	自己分析の手法をツール		
		第17回	自己分析:スキルと強みの発見		
	第18回	自己分析シートの作成			
	試験	第19回	期末試験		
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。		
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。		
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。		
備考		①遅刻・欠席をしないこと。			
		②筆記具を必ずもってくること。			
		③指定された座席で受講すること。			
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。			
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する（欠席扱いとなることもあるので注意すること）。			

(講義)	科目名:IT ストラテジー I		講師:深谷高史
科目概要	ITパスポート試験は、2009年に創設された情報処理技術者試験で、経済産業省が認定する国家試験です。職業人に必要となる情報技術に関する基礎的な知識を備えているかを測ります。本講義はITパスポート試験の合格を目的とした科目です。出題範囲の中のストラテジー系の知識を中心に展開します。 (実務経験を有する講師による授業の補足) 当科目は、税理士として自らが代表を務める税理士事務所と顧問先企業のIT利活用を促進し、各種情報系試験の資格を持つ講師が担当する。		
学習目標	ITパスポート試験のストラテジー分野に関する知識を理解し、実務や試験に役に立つ基礎を身につける。経営戦略などに関する重要な概念を把握し、実践力を養う。		
教科書		プリントなどを配布します。	
授業計画	授業	回数	授 業 内 容
		第1回	ITパスポート試験の概要と勉強方法
		第2回	企業活動
		第3回	企業の責任
		第4回	経営資源
		第5回	経営組織
		第6回	業績分析と業務計画
		第7回	経営者の意思決定と問題解決手法
		第8回	損益分岐点
		第9回	財務諸表と5つの利益
		第10回	企業活動(問題演習)
		第11回	3つの知的財産権
		第12回	産業財産権とその他の権利
		第13回	セキュリティ関連法規
		第14回	労働関連法規と取引関連法規
		第15回	その他の法律
		第16回	標準化
		第17回	法務(問題演習)
	第18回	まとめ、期末試験対策	
	試験	第19回	期末試験
成績評価	出席率	30点	期末試験の出席は1回に含みません。
	期末試験	40点	30%以上の点数を取らないと、不合格になります。
	授業内評価	30点	授業態度、小テストなどで先生が熱心な学生であると判断したら、点数が高くなります。
備考		①遅刻・欠席・居眠りをしないこと	
		②筆記具を必ずもってくること	
		③指定された座席で受講し、講師の指示に従うこと	
		④授業に集中し、授業に関係ないことはしない。スマートフォンはカバンの中に入れること	
		以上のルールに従わない場合、厳しく対応する(欠席扱いとなることもあるので注意すること)。	